

第5次能勢町地域福祉計画策定のための 福祉関係事業者・団体アンケート調査(案)

各福祉関係事業者・団体の代表の皆様へ

～ご協力をお願いいたします～

日ごろは、本町の福祉行政の推進にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

このたび本町では、「第4次能勢町地域福祉計画(計画期間:令和3年度～令和7年度)」が本年度で目標年次を迎えることから、次の5年間(計画期間:令和8年度～令和12年度)を計画期間とする次期計画を策定いたします。

その策定に当たり、行政と事業者、地域住民が地域で支えあい、助け合いながら暮らすことのできる地域共生の町の実現に向け、アンケート調査を実施することとしました。

お忙しいところ誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、恐れ入りますが、ご意見等の個別での回答は行いませんので、あらかじめご了承ください。

令和7年●月

能勢町長 岡田 正文

(お問い合わせ・提出先) 能勢町 福祉部 福祉課

電話 072-731-2150

FAX 072-731-2151

メール:hukusi@town.nose.osaka.jp

《調査票の返却について》

この調査は、町内の福祉関係事業者・団体を対象に、お願いしております。貴法人で町内に所在する事業所全体のご意見としてご回答ください。

なお、回答は統計的に処理し、個別の内容が公表されることは一切ございません。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、**令和7年●月●日(●)まで**に、郵送くださいますようお願い申し上げます。

記入日:令和7年 月 日

貴事業所・貴団体の概要を教えてください。

※事業所の名称、職員数は、町内に所在する貴法人の事業所全ての名称、数値を回答ください。

法人名			
事業所の名称			
記入者	役職:	お名前:	
職員数・会員数	正 規 職 員:	人	会 員 数:
	パート・アルバイト:	人	
ご連絡先	TEL:	メール:	

当てはまる番号に○をつけてください。

1. 貴事業所・貴団体が行う取り組みについて、おたずねします。

問1. 地域住民が参加できるイベントを開催するなど、地域住民との交流を図っていますか。(○は1つ)

1. 積極的に交流している	2. 交流している
3. ある程度交流している	4. あまり交流していない
5. 交流していない	6. 関心がない

問2. 地域で行われる行事や集まりに参加していますか。(○は1つ)

1. 積極的に参加している	2. 参加している
3. ある程度参加している	4. あまり参加していない
5. 参加していない	6. 行事や集まりの情報がない

問3. 新型コロナウイルス感染症が 5 類へと移行しましたが、コロナ前と比較して貴事業所・貴団体と地域住民との関わる機会は変わりましたか。(○は1つ)

1. 大きく増加した	2. 少し増加した
3. 変わらない	4. 少し減少した
5. 大きく減少した	6. わからない

問4. 地域とのつながりを築いていくに当たって、課題等困っていることがありましたらご記入ください。

--

2. 地域のニーズ等について、おたずねします。

問5. 地域の方々の、住民相互の助け合い・支え合い活動(地域福祉活動)は盛んですか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 盛んである | 2. どちらかといえば盛んである |
| 3. どちらかといえば盛んでない | 4. 盛んでない |
| 5. わからない | |

問6. 新型コロナウイルス感染症拡大前と比べ、どのような分野のニーズが増えたと感じますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 健康づくり・介護予防 | 2. 高齢者福祉(介護など) |
| 3. 生活困窮者支援 | 4. 子ども・子育て支援 |
| 5. 障がい者福祉 | 6. まちづくり・地域産業振興 |
| 7. 防災・災害対策 | 8. 外国籍の人への支援 |
| 9. 自殺対策 | 10. 配偶者等からの暴力(DV)の支援 |
| 11. 犯罪をした人等への支援 | 12. 成年後見制度利用促進 |
| 13. その他() | |

問7. 普段の業務・活動の中で福祉に関わる以下の課題・問題があると思いますか。施設利用者から聞く日常の困りごとも含めてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|------------------------------------|
| 1. ひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯が多いこと | 2. 道路の段差や歩道整備などバリアフリー課題 |
| 3. 生活に困窮していると感じる世帯が多いこと | 4. 金銭管理に支援を要する方に関すること |
| 5. 中高年の単身世帯など地域との関係性が薄い世帯が多いこと | 6. ひきこもりや 8050 問題を抱える世帯が多いこと |
| 7. ゴミ屋敷問題や生活環境に関すること | 8. 高齢者・障がい者・子どもへの虐待に関すること |
| 9. 言葉の壁等で困っている外国籍の方が多いこと | 10. 感染症の影響による活動機会の減少 |
| 11. 地域活動・サロンの停滞に関すること | 12. 健康問題に関すること |
| 13. 転居先の確保に課題のある世帯が多いこと | 14. 家族の介護や看護をしているこども(ヤングケアラー)がいること |
| 15. 認知症に関すること | 16. 通院・買い物など移動手段に関すること |
| 17. 特にない | 18. その他() |

問8. 今後、住民が地域の福祉活動に参加しやすくするために、どのような支援や条件があればよいと思いますか。(〇は3つまで)

1. 活動についてのPRや情報提供を充実する
2. 活動について相談でき、自分が希望する活動につないでくれる窓口を充実する
3. 参加のきっかけとなる呼び掛けや、気軽に参加できる機会を充実する
4. 少しの時間や、簡単なことからでも活動できる仕組みをつくる
5. 身近なところで活動できるよう、活動場所(拠点)を増やす
6. 交通費などの費用や、多少の報酬を得られる活動を増やす
7. 生涯学習活動など他の活動をしている人に、福祉の活動への参加を呼び掛ける
8. 活動を表彰するなど、社会的に評価される仕組みを充実する
9. 住民の移動手段の確保
10. その他()

問9. 無償または無償に近い形で地域住民の生活支援など、地域福祉推進や地域貢献のために取り組まれていることがありましたらご記入ください。

3. 災害等の取り組みについて、おたずねします。

問10. 地震や水害などの大規模な災害の際に、貴事業所・貴団体による地域への支援活動としてどのようなことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 利用者の安否確認 | 2. 避難活動時における地域との連携 |
| 3. 福祉的配慮を必要とする人の受け入れ
(福祉避難所等) | 4. 地域一般の方の一時避難スペースの提供 |
| 5. 地域や他施設からの緊急入所の受け入れ | 6. 要援護者や子どもなどの一時預かり |
| 7. 地域への食事の提供 | 8. ヘルパー・相談員の家庭訪問や避難所への派遣 |
| 9. 住民の移動手段の確保 | 10. 特に想定していない |
| 11. その他() | |

問11. 貴事業所・貴団体では地震や水害などの大規模な災害に備えて、平時からどのような準備をしていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1. 水や非常食の準備 | 2. 事業所内での避難訓練 |
| 3. 介護用品・衛生用品・オムツ・粉ミルクの備蓄 | 4. 毛布や簡易トイレの備蓄 |
| 5. 地域の避難訓練に参加 | 6. 利用者の個別支援計画の作成 |
| 7. 他の事業所との相互応援に関する協定 | 8. 地域やボランティアグループとの相互応援に関する協定 |
| 9. 特に準備していない | 10. その他() |

4. 今後の能勢町の地域福祉の推進に重要だと思うことについて、おたずねします。

問12. 「ともに助け合い、支え合う地域づくり*」について重要なもの (〇は2つまで)

- | |
|---|
| 1. 地域活動への住民の参加と交流 |
| 2. 区組織や自治会活動などによる地域活動 |
| 3. 高齢者の交流や外出機会の創出 |
| 4. 地域組織や各種団体間の協力、連携(ネットワーク) |
| 5. 自然環境を活用した取組や保全育成活動 |
| 6. 「まつり」など歴史を伝える有形、無形の文化財や伝統行事の継承への取組 |
| 7. 人権教育や人権意識の高揚を図るための各種イベントの開催や啓発活動 |
| 8. 高齢者や障がいのある人、LGBTQ の方など、多様な方々への理解を深めるための福祉教育や啓発活動 |
| 9. 世代間交流や地域への理解を深めるための各種講座 |
| 10. 地域福祉への理解を深めるための広報啓発活動 |
| 11. ボランティア活動に関する相談・情報提供 |
| 12. ボランティアや民生委員・児童委員など福祉の担い手の人材の育成 |
| 13. 区や地縁型組織などの活動に対する支援制度 |
| 14. ボランティア団体や NPO、サークル等による地域福祉活動の行いやすさ |

問13. 「地域で支え合う仕組みづくり*」について重要なもの（○は2つまで）

1. 高齢者や障がいのある人、子育て支援などの福祉サービスの内容の充実
2. 町の福祉サービスに従事する人材の確保とサービスの質の向上
3. 福祉に関する地域の相談窓口や相談体制(CSW 等)の充実
4. イベント時の出張相談等相談体制の充実
5. パンフレットやインターネットなどによる福祉サービスに関する情報提供の充実
6. 手話通訳の派遣や音声版広報の作成等、障がいのある人に配慮した情報提供の充実
7. 認知症や知的障がい・精神障がいのある人の権利擁護のための取組の充実(福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、成年後見制度等)
8. 消費者被害の未然防止に向けた取組の充実
9. 矯正施設退所予定者等への社会復帰支援の充実
10. 介護・福祉人材の確保に向けた取組の充実
11. 教育・保育人材の確保に向けた取組の充実

問14. 「誰もが安心して生活できるまちづくり*」について重要なもの（○は2つまで）

1. 住民が身近な地域で気軽に集え交流できる場
2. 公民館や保育所(地域子育て支援センターを含む)、学校、空き家等の地域資源を活用した活動拠点
3. 公共施設や道路等のバリアフリーの状況
4. 高齢者や障がいのある人が安心して移動できる公共交通手段
5. 地域における防火対策や災害対策
6. 地域の災害弱者に対する支援体制
7. 地域における防犯活動や犯罪防止体制
8. 地域交通安全対策(交通安全啓発、歩車道分離やガードレール、カーブミラーの設置等)
9. 高齢者や障がいのある人、児童に対する虐待防止対策
10. 地域住民による高齢者や障がいのある人、児童の見守り
11. ひとり親家庭や障がいのある人などの働く場や就労に向けた支援
12. シルバー人材センター*など高齢者の就労支援

*ともに助け合い、支え合う地域づくり *地域で支え合う仕組みづくり *誰もが安心して生活できるまちづくり	いずれも第4次能勢町地域福祉計画で定める基本目標です。 基本理念である「ふれあいと生きがいのあるまち のせ ～助け愛(あい)、支え愛(あい)による地域福祉力の向上～」の 実現に向けて、3点の基本目標を掲げ、施策を推進しています。 同計画については、右の二次元コードから能勢町ホームページで ご覧いただけます。 
*シルバー人材センター	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、高年齢者に臨時的・短期的事業を行う団体。本町では能勢町社会福祉協議会が運営しています。

5. 地域福祉を推進していくために取り組んでいくべきことについて、おたずねします。

問15. 災害時、高齢者や障がいのある方に対する避難の支援活動を円滑に実施するため、地域社会ではどのような取り組みが必要だと思われますか。

問16. 高齢者や障がいのある方、子どもへの虐待が社会問題となっています。虐待の未然防止・早期発見のために、地域社会ではどのような取り組みが大切だと思われますか。

問17. 高齢者や障がいのある方、子どもの権利擁護のために、どのようなことが必要と考えますか。

6. 地域福祉を推進していくために、町や能勢町社会福祉協議会が特に取り組んでいくべきことについて、おたずねします。

問18. 貴事業所・貴団体が活動をしていくうえで町に望むことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 活動上必要な情報の提供 | 2. 経済的支援 |
| 3. 事業所(団体)や活動についての PR | 4. 活動場所の提供 |
| 5. 他事業所(団体)とのネットワーク化 | 6. 設備・備品の充実 |
| 7. 職員(会員)募集の支援 | 8. リーダーの養成支援 |
| 9. 運営上の助言 | 10. 成果の発表の場の提供 |
| 11. 福祉に関する総合相談の充実 | 12. 特にない |
| 13. その他() | |

問19. 能勢町社会福祉協議会に今後、どのようなことを期待しますか。(○はいくつでも)

1. 福祉に関する相談機能の充実
2. 住民同士の助け合いの仕組みづくりとその充実
3. 福祉に関する講習や講演会の実施などの福祉教育の充実
4. ボランティアの育成や活動の充実
5. 子育てに関する福祉サービス等の充実
6. 高齢者や障がいのある人が地域で生活するための自立支援
7. 介護保険や障がい福祉サービス以外の在宅福祉サービスの充実
8. 福祉に関する情報の発信(インターネットなどを含む)
9. 福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施
10. 福祉団体への支援
11. 災害時のボランティア受入調整に関すること
12. 特に期待することはない
13. その他()

7. さいごに

問20. その他、平素から地域福祉の推進に必要不可欠と感じているものがあれば、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。